

## 事業計画書

事業名	出前授業 モンゴルを知る！「梅木秀徳 モンゴルの風 馬頭琴&ホーミー教室」
実施箇所	市内 8 小学校（別紙参照）
実施期間	事業開始予定年月日 令和 元 年 11月 1日
	事業終了予定年月日 令和 元 年 11月 8日
事業概要	<p>&lt;事業の目的及び達成目標&gt;                  平成18年「モンゴル国建国800年記念」に際し、日本・モンゴル友好年実行委員会からの要請を受け、佐久市の熱気球とパイロットを派遣したことが縁でモンゴル国ウランバートル市スフバートル区と交流を続け、平成20年8月4日ウランバートル市役所において友好都市協定を締結した。                  佐久市は、平成元年に国から交付された「ふるさと創生資金」を「佐久市ふるさとづくり基金」として積み立て、その基金の活用により、次代の佐久市を担う人材を育成するための「佐久市ふるさと創生人材育成事業」を実施し、平成22年から友好都市であるモンゴル国ウランバートル市スフバートル区に市内中学校の生徒を派遣している。                  佐久市・モンゴル親善協会は、平成20年3月に市民有志により組織され、これまで佐久市が行う中学生海外研修並びに友好都市モンゴル国スフバートル区の子どもの受入協力や国際交流フェスティバル in 佐久などのイベントへ積極的に参加している。また、平成29・30年度において、長野県元気づくり支援金を活用して中学生及び一般向けのコンサートを開催した。                  これらの活動を積極的に行うことでより多くの市民がモンゴル国を知る機会が増え、親善意識が深まり、相互の子ども交流が地域に根付き、市民レベルの交流が実現すること目指して、令和元・2年度において、市内17小学校で本支援金を受けて当該事業を実施する。</p> <p>&lt;事業の内容&gt;                  授業の一環として45分の枠で令和元・2年度において佐久市まちづくり活動支援金を活用して市内17小学校の5・6年生を対象にモンゴルホーミー協会からプロフェッショナル・ホーミー歌手の認定を受けた講師がホーミー及び馬頭琴を演奏する出前講座（特別授業）を実施する。（11月5日～8日）また、この出前講座に合わせて市内17小学校の教職員を対象に子ども未来館のプラネタリウムでモンゴルの星空を鑑賞しながら馬頭琴コンサートを開催する。（11月6日）                  ホーミーは、モンゴルに伝わる喉を使った一人の歌い手による二重唱で、唸るような低音の上に透き通った高音が響き渡ります。小学校5年生の音楽に「声による世界のいろいろな国の音楽に親しみましょう。」という単元でスイスなどの「ヨーデル」インドネシアの「ケチャ」アメリカの「ゴスペル」と一緒にその指導資料の鑑賞対象となっている。                  また、馬頭琴は、小学校2年生の国語「スーホの白い馬」に登場するモンゴルの代表的な伝統楽器で「草原のチェロ」とも呼ばれる楽器です。</p> <p style="text-align: center;">講師梅木秀徳氏経歴（別紙参照）</p> <p style="text-align: center;">実施校及び対象児童（別紙参照）</p> <p>&lt;アピールポイント&gt;                  本事業の対象が市内の全小学校であること。市民が学校に生の音楽届けること。その音楽を通じて佐久市の友好都市モンゴル国に興味や関心をもち、主体的に調べるなど本物を聴くことの教育的効果は大きい。また、小学校高学年で本事業を実施することで佐久市が行っている中学生海外研修「モンゴル国」への参加の動機付けとなると考えている。</p>

年間計画	4月	
	5月	
	6月	
	7月	
	8月	
	9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・申請書の提出</li> <li>・事業採択の内示を受け、講師及び学校関係者と計画の最終調整</li> </ul>
	10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施小学校に講師のプロフィールのほか資料の配付</li> </ul>
	11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5日(火) 午前 佐久平浅間小学校 午後 平根小学校</li> <li>・6日(水) 午前 中佐都小学校 午後 浅科小学校 夜間 佐久市子ども未来館</li> <li>・7日(木) 午前 東小学校 午後 野沢小学校</li> <li>・8日(金) 午前 佐久城山小学校 午後 高瀬小学校</li> </ul>
	12月	
	1月	
	2月	
	3月	
	活動することで期待される地域や社会への具体的な効果・成果 (事業の対象者・参加予定人数も記載)	<p>&lt;「公益性」の視点&gt;</p> <p>当協会は、長野県の元気づくり支援金を活用して平成29年度においては、市内の中学生及び市民を対象としたモンゴルの「民族楽器コンサート」を開催しました。このコンサートで中学生には教科書や絵本で知る「馬頭琴」について、実際の演奏を聴く、触れる機会がなかった子どもたちにとって貴重な体験となった。また、市民にあってはモンゴルとの友好都市協定締結などの認知度が低い状況にあって友好親善の意識醸成の動機付けとなった。平成30年度においては、アンケート結果を基に民族楽器の演奏のほか、写真のスライドショーや民族衣装を着たり、遊牧民の住居ゲルの展示説明などで深くモンゴルを知る内容のコンサートを開催した。この取り組みで友好親善意識の高まりとモンゴルへの関心が増す契機となった。</p> <p>この実績を踏まえ、今年度は将来の中学生海外研修の対象となる小学生向けに出前講座を計画した。この事業でモンゴルの音楽(馬頭琴・ホーミー)を通して佐久市の友好都市モンゴル国への関心を高め、興味が増すことで友好親善意識の醸成が図られ、その結果、国際社会への「関心の高まり」や「視野が広がる」ことが期待できる。なお、事業効果の検証するため、アンケート調査を実施する。次年度はそのアンケート結果を参考に事業展開したい。</p>

<p>活動を継続するための取組や考え方 (資金面、人材等)</p>	<p>&lt;「自立性」の視点&gt;      当協会は、これまで佐久市が行う中学生海外研修並びに友好都市モンゴル国スフバートル区の子どもの受入協力や国際交流フェスティバル in 佐久などのイベントへ積極的に参加してまいりました。      これらの活動を積極的に行うことでより多くの市民がモンゴル国を知る機会が増え、親善意識が深まり、相互の子ども交流が地域に根付き、市民レベルの交流が実現するよう事業を展開している。      しかし、国際交流に対する市民の関心度は低く、これまでの活動も当協会や佐久市が行う中学生海外研修の認知度を高めることが重要と考えており、その活動の財政基盤を構成員として「佐久市姉妹都市・友好都市親善協会」に置き、佐久市中学生海外研修の引率者等の協力を得て、活動の継続を図りたい。</p>
<p>翌年度以降の活動内容概要</p>	<p>・本事業は、今年度市内小学校17校全てで実施できないため、来年度は残りの9校で本制度を活用して実施したい。      なお、内容は原則今年度と同様の構成で実施するが、実施にあたってはアンケート結果を参考に事業効果を高めるべく事業展開したい。</p>
<p>事業の最終目標</p>	<p>●佐久市が行う中学生海外研修モンゴル国への参加希望者が増加すること。</p> <p>【中学生海外研修の効果】      国際交流は、未来を担う子どもたちにとって必要な学習活動です。      国際交流は、世界を知る、世界とつながるだけではなく、子ども自身の価値観の広がり、理解の深まり、また、活動に伴う学習へのモチベーションの向上などが期待でき、学力向上にも意味のある学習活動と考える。</p> <p>異なる文化を持った人々とコミュニケーションをとることは、今までの自分の考えを見直し、視野を広げる機会となる、新たな視点から見れば、気づかなかったことも見えてくる。</p> <p>【将来】      積極的な市民の誕生が「みんなが何かをしようと思い、それに共感する人が集まれば地域は活性化していく。」</p>